

平成二十九年入学試験

前期日程試験問題

国語

注意

- 一、開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 二、受験番号を解答用紙の二カ所¹に書き、答えはすべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は **1** から **3** までで、五ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に**別紙1**、裏に**別紙2**が印刷されています。
- 四、終了のチャイムが鳴ったら、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

問1 ——線のカタカナを漢字に直しなさい。送りがなが必要な場合は、それをひらがなで書きなさい。

(1) ケワシイ山道をこえて行く。

(2) 文化は国のザイサンだ。

(3) 運動会のジュンビをする。

(4) 友人に参考書をカス。

(5) ホウフな地下資源を利用する。

問2 ——線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

(1) 全国に分布する支店。

(2) 新緑の緑が青空に映える。

(3) 平和への祈りを唱える。

(4) 秋の雑木林をゆつくりと歩く。

(5) 先生から受けた恩に報いる。

2 別紙1の文章を読んで後の問いに答えなさい。

問1 に入る言葉を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 雑談 イ 本題 ウ 結論 エ わき道

問2 ——線①「二人して同時にさえ子を見る」とありますが、この時のケンゾーとユウタの気持ちとして適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア さえ子が見当違いなことを言ったので、どう答えようか悩んでいる。
イ 誰にも答えは分らないと思っていたのにさえ子が答えたことにとまどっている。
ウ 蛭に全く興味のないさえ子が蛭について語り出したことにいらだっている。
エ 答えたのがさえ子で、その内容が意外だったことに驚いている。

問3 ——線②「実に女の子らしい説明」とありますが、「らしい」の使い方が同じものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア かわいらしい赤ちゃんの寝顔を見た。
イ もうすぐ雨が降るらしい。
ウ めつきり春らしい日差しとなる。
エ 昨日お客さんが来たらしい。

問4 ——線③「見て驚くなよお？」とありますが、この時のケンゾーの気持ちとして適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 自信 イ 心配 ウ 疑問 エ 歓喜

問5 ——線④「手すりに手をかけた得意げな顔」とありますが、これは誰を指していますか。文中の言葉で答えなさい。

問6 ——線⑤「宮舞蛭」とありますが、「宮舞蛭」と呼ばれるようになった由来を、解答欄に合うように本文中から八字でぬき出して答えなさい。

問7 (1) ・ (2) に入る言葉をそれぞれ次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア きつと イ もしも ウ まるで エ なぜなら オ 決して

問8 ——線⑥ 「この橋の上から見る蛍の美しさ」とありますが、その美しさを言い表している部分を、これより前の本文中から五字でぬき出して答えなさい。

問9 ——線⑦ 「何だか少し寂しそうに見えた」とありますが、ユウタはなぜこのように感じたのですか。適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア さえ子が、ほかの虫に比べ命が短い蛍について、詳しく学びたがっているように見えたから。

イ さえ子が、蛍の命の短さに夏休みの短さを重ねて、悲しんでいるように見えたから。

ウ さえ子が、虫たちの命の短さに、生きていることの意味を考えているように見えたから。

エ さえ子が、蛍の光の美しさを守るために、自然を大切にしようと考えているように見えたから。

問10 次の文は——線⑧ 「宇宙空間の真ん中」を別な表現で表したものです。次の文の空欄にあてはまる言葉を、指定された字数で本文中からぬき出して、それぞれ答えなさい。

(A 一字) が乱舞する様子を (B 十字) のように感じて、川辺に下り立った情景を (C 五字) と言い表している。

問11 右の文章の表現の特徴として適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 会話文を多用してテンポよく話を展開し、情景を説明しなくても物語が理解しやすいように工夫されている。

イ たとえを用いて情景を読者に想像させることで、登場人物の感動が伝わるように工夫されている。

ウ それぞれの視点から物語を展開させることで、登場人物の心情の変化が読み取れるように工夫されている。

エ 方言を多用することで物語に現実味をもたせ、登場人物の感動が理解できるように工夫されている。

3 別紙2の文章を読んで後の問いに答えなさい。

問1 ——— 線① 「日本は特殊な位置にいる」について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 「特殊な位置」の説明としてあてはまらないものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 女性の大学進学率は高いが、正職員として働いている人数の割合は低い。

イ 女性の大学進学率は高いが、正職員として働く機会が男性より少ない。

ウ 女性が正職員として働く機会が男性とほぼ同等だが、経営者になる人の割合は低い。

エ 女性が正職員として働く機会が男性とほぼ同等だが、働き続けている人は少ない。

(2) 筆者は日本の「特殊な位置」をどのように変えていく必要があると考えていますか。筆者の考えを表している一文の初めの五字をぬき出して答えなさい。

問2 ——— 線② 「総合指数」とありますが、表1を見て、日本より指数の低い国をすべて答えなさい。

問3 表1を見て、A・Bにあてはまる数字を答えなさい。

問4 ——— 線③ 「なぜなのでしょう」とありますが、その理由を、本文中のことばを用いて三十字以内で答えなさい。

問5 にあてはまる言葉として適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 板張り イ 吹きぬけ ウ コンクリート エ ガラス

問6 ——— 線④ 「ところが日本では、進学率はそこそこ高いのになぜ」とありますが、「なぜ」の後にはどのような言葉が入りますか。解答欄に合うように本文中から十二字でぬき出して答えなさい。

問7 ——線⑤ 「男性と伍して働く」について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

- (1) 「男性と伍して働く」は「男性と対等に働く」という意味です。同じ意味になるように、次の文の空欄にあてはまる身体の一部を表す漢字一字を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

男性と□を並べて働く

ア 肩かた イ 腰こし ウ 頭 エ 胸

- (2) 次のA～Cの空欄に身体の一部を表す漢字一字をそれぞれ答えなさい。

A □を割って話をする

B □を長くして待つ

C □に衣着せぬ言い方をする

問8 ——線⑥ 「日本の女性の働き方は、一般的に『Mカーブ』といわれています」について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

- (1) 女性の労働率がM字のように大きくへこむのはどのような理由からですか。本文中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

- (2) 日本の女性は再就職後どのような働き方をしている人が多いのですか。本文中から十二字でぬき出して答えなさい。

- (3) 図10を見て、Mカーブの二番目の山が一番高くなるのは何歳から何歳かを答えなさい。

問9 ——線⑦ 「仕事を続けるのはお金のためだけではありません」とありますが、仕事をするには他にどのような意味があるのですか。筆者の意

見を一つ取り上げ、それに対するあなたの考えを八〇字から一〇〇字で書きなさい。

これで問題は終わりです。

別紙 1 (本文は、設問の都合で省 略した箇所があります。)

「蛍ほたるってのは普通ふつう、真夏の時期にはもう見られないもんなんだ」

そのケンゾーが、気を取り直して に入ろうかという感じで話を切り替える。

「普通は、せいぜい七月初めまでがいいところだ。けどよ、深山井が名所だって言われるのは、毎年八月後半、お祭りの辺りまで見られるからなんだ」

「ふうん……。それよりさ、何で蛍ほたるって光ひかりつちやうわけ？」

オレの素朴な疑問ぎもんに答えてくれたのは、意外にもさえ子だった。

「蛍はねえ、運命の相手を探さがすために光を出してるの」その唐突とうとつさに、 二人して同時にさえ子を見る。

「オスは皆みな、強い光で飛び回るんだけど、メスは葉っぱの上で小さく光って、オスが見つけてくれるのを、ズーっと待ってるの」なるほど。実に ② 女の子らしい説明だ。つまり交尾こうびする相手を求める手段として体を光らせるって事か。

「でもさ、メスは葉っぱの上でジツとしてるんだろ？ だったら、オスはそんなに光ひかりなくていいから、もっと見つけやすいようにメスの方が強い光を出すような仕組みになるんじゃない？」

思ったままの疑問を投げかけると、さえ子が間髪かんはつ入れずに切り返す。

「本当はメスは光れないんだよ。メスはね、飛び回ってるオスの中に自分の運命の相手をすぐに見つけられるの。だけど自分からは何もできなくて……。それでも気付いてくれないかなあって精一杯せいいつぱい頑張がんばって、やっと少しだけ光るんだよ」

「ふうん。そんなもんかなあ」

「あはは、ユウタ。さえ子が言うのも一応正しいんだ。それと、お前の疑問も分かる。蛍が光るのには色んな説があつてよ、そういうのもひつくるめて未だに謎なぞって訳わけさ」

やっと仲直りしたオレたちに気遣きづかってか、宥なだめるように話をまとめられた。

暫しばらくくすると、水の流れる音が聞こえてきた。道は緩やかなカーブを描えがき、真つ黒な林へと続く。その林に差し掛かかる途中とちゆうに、木で造られた小さな橋が見える。橋の一番手前の柱には 【宮舞橋】 という文字が彫ほられ、中を金色で塗ぬられていた。

「さあ着いたぜ。ユウタ、 ③ 見て驚おどろくなよお？」

コッコッコッコツ……。先を行くケンゾーの足音が橋板を心地よく鳴らす。僅わずかにカマボコ状に丸みを帯びた橋の丁度真ん中辺りで、 ④ 手すりに手をかけた得意気な顔がオレたちを迎むかえてくれる。

「これが深山井名物、 ⑤ 宮舞蛍ほたるさ」

誘さそわれるままに手すりまで駆け寄り、見下ろすとそこは……。 「うわあ」

そこは幻想の世界だった。

夜空の星以外に何一つ灯りのない暗闇。せせらぎは聞こえても、この橋のどの位下に小川が流れているのかも分からないほどに暗い。そんな深い暗がりの中、ゆっくりと明滅めいめつを繰り返す無数の光の群れ。

「これが、蛍……。 (1) 華やかでなく、静かに、 (2) 一回一回を慈いづくしむかのように光を燈ともす。乱れ飛とぶ動きは全く予想がつかず、その姿すがたは当てもなく彷徨さまよっているようであり、何かを探し求めているようであり、また、自らの舞いに酔よいしれているようでもあった。

「さえ、蛍だあい好き」眼下で繰り広げられる光の演出に、さえ子が嬉うれしそうに笑みを浮かべる。オレも初めて見る幻想的な光の世界に、言葉もなくただその光景に魅みせられていた。

「元々この橋は、村の名前と同じ 【深山井橋】 だったんだ」

ケンゾーの話によると、 ⑥ この橋の上から見る蛍の美しさが人伝ひとでで有名になり、名所として訪おとずれる人が増えたのだと言う。蛍は毎年夏が来ると、ここに群れを成し乱舞する姿を人々に披露ひろうした。

そして、いつしかその上品で優雅ゆうがに舞う姿から、宮舞蛍と呼ばれるようになったのだと言う。

「それでよ、橋を新しく造り直す時に、ついであってんで字を変えて 【宮舞橋】 にしたって訳よ」

宮舞蛍。暗闇を雅みやびやかに舞う数万、いや数十万の蛍の姿は、まさしくその名に相応しいものだと思った。

「今が一番の見頃みころかもな。夏の間暫く蛍が見られるって言っても、後はだんだん数が減っていく。寿命じゆみゆうが短いんだ、蛍は」

蛍は成虫として世に出てきてからは僅かか十日ほどしか生きられないと言う。しかもそれはあくまでも順調な場合の寿命であり、実際には外敵の多さなどから、その平均寿命はたったの二三日でしかないらしい。

かぶと虫も長生きはしない。クワガタは成虫のまま冬を越して二三年は生きるけど、かぶと虫は一夏限りだ。毎年捕とまえてきては、夏の終わりに水槽すいそうの腐葉土ふようどの上で動かなくなったその姿を見て、何だか可哀かわい想せうになって庭にお墓つみを作つくって埋うめたりしていた。

だけど二三日なんて。蛍って一体何のために生まれてきて、何のために生きているんだろう。

「長く生きられないから……。早く運命の相手を見つけたくて一生懸命いっしょうけんめい光るの。だからあんなに綺麗きれいなんだよ」

暗闇に舞う蛍の光を見下ろしたまま、急に大人びた言い方で呟つぶやいたさえ子が、 ⑦ 何だか少し寂さびしそうに見えた。

乱舞する無数の蛍たち。その光は優しく緩やかで。自分の命の短さなんて知らないみたいに無邪むじゃ気にさえ見える。いや、さえ子の言うように知っているからこそその振る舞いなのか……

過ぎ去ってゆく刹那せつなを、儂はかなげにも何かを求めて精一杯かがや輝かく。何だか蛍ほたるって夏休みの短さに似てるな……。そう思った。

「ユウタ、もつとスゲエの見してやるよ。ついて来な」ケンゾーはそう言うのと、橋のすぐたもとを慣れた感じで下り始めた。急いで後を追うとそこは、昼間でも足が竦すくみそうな急な斜面しゃめんだった。(中略)

やっこの思いで川辺に下り立つと、身体が宙ちゆうに浮いているような錯覚さくかくに陥おちった。「す、すげえ」まるで ⑧ 宇宙空間うちゅうくわんの真ん中まんなかにでもワープしてきたみたいだ。上を見ても、目の前も、そして足元を見ても、無限に散らばる碧あおい星が静かに煌きらめ瞬またたき、ときめく。それは真つ暗な川辺に銀河を形成しているかのような壮大そうだいなスケールの美しさ。今までに見た、どんなに綺麗なイルミネーションさえも安

っぽく感じてしまうほどの優美な光のページェント。まさにここは、地上の銀河だった。(出典 川口雅幸 『虹色ほたる

世界企業であるマスターカード (MasterCard) は、アジア/太平洋、中東、アフリカ地域を対象として、社会経済学の観点から、「女性の社会進出度」調査を毎年行っており、その結果を公表しています(表1)。その調査指標とは、「事業所有」「企業および政府機関における管理職への就任」「労働力参加」「正規雇用機会」「高等教育の機会」の五項目です。会社を持っているか、会社や役所で管理職についているか、働いているか、正職員として働く機会があるか、大学教育を受けているかを、同国内の男性を100としてどのくらい同等の位置にいるかを示しています。

この調査で、①日本は特殊な位置にすることが明らかになっています。②総合指数では一四カ国中、下から三位です。日本はこの数年、大学進学率は男性を下回っていますが徐々に上がりつつあります。正規雇用機会は、男性とほぼ同等、少々上回っています。しかしながら、ほかの指標では、他国に比べかなり低いのです。大学を卒業しながらも、働いていなかったり、働いていたとしてもアルバイトやパート的なものであったりしています。会社を作って経営者になるというのもこれまた低い。

ところが、たとえばフィリピンでは、男性100に対し、女性の管理職は一九二。ニュージーランド、オーストラリア、シンガポールは男性100に対し、女性はA「台後半からB「台後半です。日本はなんと、一五。韓国で一七、中国でも二四です。③なぜなのでしょう。A「天井」という表現があります。これは法律や制度で決まっているわけではないけれど、見えない制約があったのでそれ以上、上に行けないという状態を指します。つまり、社会的、文化的な意識によって、制限されてしまっているということ。日本における「天井」は、男性の意識だけでなく、女性自身の意識にもあります。

一〇〇五年から行われてきているこの調査では、アジアの国々では、管理職や経営者の数が低いのは、そもそも女性の高等教育への進学率が低いことが一つの原因であるとされ、各国でその改善努力がなされています。女性の社会経済的進出には、高い学歴を得て、そこから職場に進出することで、雇用とキャリアアップに新たな道が拓けることになると考えられています。④ところが日本では、進学率はそこそ高いのになぜ? 男性と伍して働くことを男性も女性も歓迎していない、ましてやリーダーとなっていくなんて、これまで長く続いてきた社会的意識があるのではないのでしょうか。これから社会に出ていく女子の自己認識、そしてそれを取り巻く人々の認識の見直し、改善も必要です。

(中略)

表1 アジア・太平洋地域における「女性の社会進出度」指数

市場名	総合指数	5項目				
		高等教育機会	事業所有	企業および政府機関における職への就任	労働力参加	正規雇用機会
日本	64.8	89.6	29.4	15.0	69.0	105.3
オーストラリア	83.3	134.5	56.6	73.1	81.6	105.5
ニュージーランド	83.1	137.7	46.8	77.1	83.2	111.1
フィリピン	77.8	125.8	47.1	192.3	62.8	98.1
シンガポール	77.4	98.1	46.0	65.5	74.0	113.6
ベトナム	75.0	107.2	37.5	32.7	90.1	71.6
タイ	74.6	133.2	38.5	36.0	79.9	95.2
中国	73.7	118.4	42.6	24.0	84.3	82.8
香港	73.7	104.2	29.0	48.4	75.1	110.1
台湾	73.5	107.0	30.4	34.3	78.8	109.0
マレーシア	68.3	135.9	32.5	58.7	57.1	111.2
インドネシア	67.9	103.3	35.9	45.9	61.0	94.4
韓国	63.5	73.1	42.2	17.3	68.9	102.8
インド	48.4	69.5	32.5	65.8	35.9	52.9

(出所: <http://www.mastercard.com/jp/company/jp/press/1203a.html>)

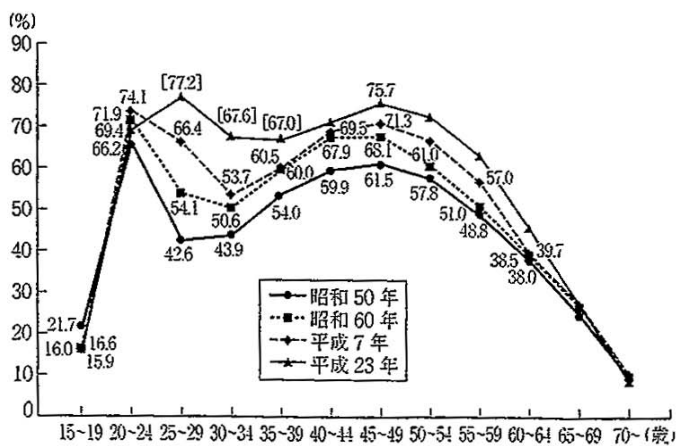


図10 女性の年齢階級別労働率の推移。どの年もM字型カーブがつけられている(総務省「労働力調査」より作成)

⑥日本の女性の働き方は、一般的に「Mカーブ」といわれています。働く女性は増えていますが、Mカーブは、ここ三〇年あまり変化していません(図10)。

Mカーブは働いている人の年代別の割合から来ています。二〇代後半から約一〇年間、大きくへこむのは、結婚、出産によって退職するからです。育児にある程度手がかからなくなったら再就職をと考えている人が多く、しかしその時には正規雇用の仕事はなかなか見つからないのが現状です。

Mカーブの二番目の山は、仕事には就く、社会に復帰するけれどもその内容は大きく異なります。専門職、正規雇用の状況、況はほとんどなく、専門的ではない、事務やサービスのパートとして働くことになり、結果として、働き続けた人と比較した場合、生涯所得に換算すると一億円から二億円近い差が生まれることになります。

(中略)

育児は女性一人の役割ではありません。男女雇用機会均等法が施行され、育児休暇の制度や保育園など社会的な環境も、かなり整ってきました。それまで学んできたこと、専門性を活かして一人の人間として生きていくことが、家庭において、育児にもよい影響を与えるに違いありません。育児が一段落してからの人生の長さを想像してみましょう。

自分で自由に使えるお金があることは重要ですが、⑦仕事を続けるのはお金のためだけではありません。仕事を通じて知識や能力を高めていくことができます。人間関係が広がり、生活にも刺激があったり、仕事を通じて自己実現を図るのもよいでしょう。社会に貢献することにもなり、仕事をしている家族と対等な関係であるためでもあります。

